一歩一歩煩悩滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

三十六段　調子にのらない

三十五段　円満な心でいつもいる

三十四段　ありのままの自分でいると疲れない

高尾山季節散歩

暦の言葉「二十四節気」小満「しょうまん」

小満は五月二十一日頃に当ります。陽気が良くなり、様々な動植物が成長して、大地に満ち始めることから、「小満」と呼ばれるようになったとされています。

梅雨を目前に控える時期ですが、陽射しは日毎に強くなり、初夏の気配を感じる日が多くなります。

今月の行事　八十八夜

立春の日から数えて、八十八日目となる日で、五月二日頃に当ります。

八十八夜といえば新茶の茶摘み歌で有名ですが、農家にとってはこの時期を境に霜が降りることもなくなるため、種蒔きに適した時期になります。

院内散歩 ③

～薬王院の展示物～

「紅葉の木で休むふくろう」
絵・橋本豊治（八王子市在住）

健康登山者投稿作品

絵画「みちしるべ」②

八王子市　川口　吉治

甲州街道（国道二十号線）沿いの落合交差点に残る、高尾参詣の近道を示す道標。甲州街道から険阻な山道を通り、金毘羅台を経て表参道（一号路）へ合流する。

建　立　明治四十一年四月
高　さ　約百十八センチメートル
台座高さ　約三十センチメートル
台座周囲　約七十八センチメートル角
幅　約三十センチメートル
奥　行　約三十センチメートル

富士登拝修行　代参守のご案内

富士登拝修行は平成十九年に執行され、本年で十一度目の登拝となり、本年も七月三十一日から八月五日の行程で、高尾山麓から富士山頂へ登拝修行を執行致します。例年の如く徒歩練行にあたり代参守りを有縁の皆様方に授与致します。

この代参守は、高尾山御本尊・飯縄大権現様から富士山まで続く祈りの道を修験者によって歩いて運ばれるものです。

道中、各参拝所で、東日本大震災により被災された方々のご安全、被災地の早期復興、国土安穏の祈りを込めながら、富士山頂での法楽においては、申込者の御芳名を読み上げ、諸願の成就を祈念いたします。

その後、高尾山麓での成満柴燈大護摩供にて御守を御加持したのち、登拝修行期間中、御宝前にて祈願されている碑伝(木札)と共にお授け致します。

古式に則り高尾山より歩いて参拝する、富士詣『霊峰富士登拝修行』の代参守、本年一年の、諸縁吉祥・諸願円満の為に、ここにおすすめ致します。

尚、代参守は高所運搬が伴うため、数量に限りがありますことを予めご了承ください。

授与料
代参守と碑伝合わせて
一体壱千円以上

申し込み
山上・お護摩受付所又は、葉書に、郵便番号・住所・氏名（富士山頂にて御芳名の読み上げを致しますので必ずフリガナを明記して下さい。）電話番号を明記して、左記までお申し込み下さい。

締切　七月三十一日(月)

〒一九三―八六八六
八王子市高尾町二一七七
大本山高尾山薬王院内
富士登拝事務局

秩父一心真正講　百五十回記念登山

去る四月九日、秩父一心真正講の皆様が、今回で百五十回目となる団参をされました。

会計役員の前原啓作様（写真前列左から五人目）によりますと、「講社の来歴は詳しく伝わってはいないが、明治年間の初期に設立されて以降、御本尊様のお蔭で講員達が代々に渡り参拝を続けることが出来ました。」とのお話を伺いました。

参拝百五十回を達成された秩父一心真正講の皆様